



CLTによる軒のハネ出しが特徴的な集会施設

屋根パネルにCLT活用

平方木材

木造軸組の躯体に張弦梁トラス、屋根にCLT、耐力面材にAパネル工法を採用した集会施設が群馬県前橋市に完成した。資材及びプレカット加工は平方木材(群馬県前橋市、平方宏社長)が担当した。同社は中大規模建築セミナーで需要を掘

り起こしており、着実な成果につながっている。

完成した集会施設は軸組工法平屋建て、延べ床面積は約300平方メートル。躯体の柱は杉3・6材×120ミリ割角(E70以上)、梁は米

松集成材6材×120×360ミリと製作金物による張弦梁トラスを採用した。最高高さ4・62材、桁行き19・56材、梁間15・47材、最大スパン11・8材。木材使用量35立方メートル。

屋根は銘建工業の杉CLT150×5840×2729ミを13立方メートル使用した。断熱材十ガルバリウム鋼板仕上げ。軒のハネ出しが2階あり、CLTの特徴を生かしたデザイン

とした。また、耐力面材にはAパネル工法を採用し、そのまま内装仕上げとなっている。Aパネル(36ミリCLT、山佐木材)を19枚(約2・7立方メートル)使用した。施工は鶴川興業。

平方木材は設計事務所や工務店を対象にした中大規模木造建築セミナーを開いており、これまでに8回を数える。各種工法や商材を紹介する地道な努力が奏功し、物件があがった際にはまず一番に同社に相談が寄せられるケースが増えている。幼稚園、道の駅、店舗、倉庫等多くの実績があり、プレカット加工から建て方、木工事まで対応し、需要の深耕を図っている。